



松明

(令和5年7月発行・隔月発行) 2023 vol.4



P1 新規採用者 リフレッシュ研修より

看護部だより

新規採用者 リフレッシュ研修

教育担当師長 五十嵐 大二

新社会人は、学生から社会人となり、仕事を覚えることだけでなく、生活環境の変化や新たな環境への適応、人間関係の構築など様々な葛藤を抱えていると言われてます。一方で、新たな出会いや、仕事に対する責任感ややりがいも感じるようになります。入社後3か月は、新たな環境に慣れ、仕事も少しずつ覚え出来ることが増えてきます。同時に張りつめていた緊張や仕事に対する責任を自覚することで、心身の疲労が表れやすい時期です。

今回は病院を離れ、6月14日(金)に梅雨の時期らしい雨の中、リフレッシュ研修を行いました。同期との交流・心身のリフレッシュを目的に、看護部・療育指導部・事務部の8名が、大滝川公園で他己紹介やコミュニケーションゲーム、バーベキューを行いました。お互いを知り、交流を深めるきっかけとなりました。また、研修を通して、今抱えている思いや悩んでいることを共有するなか

で、『自分だけではない』『互いの成長に気が付く』といった共感や承認の思いを抱くことができていました。また、趣味や気分転換の話題では、お互いの意外な一面を知り、『こんなスポットがあるよ』『今度行ってみよう』などお互いの情報をシェアすることで、今後の楽しみが増えたようです。食後には、雨もあがり公園周囲の遊歩道を散策したりダムからの景観を楽しんだり、散歩を通して自然を満喫しました。

研修を終えた研修生から『自然の中で楽しく美味しくリフレッシュできた』『これまでちゃんと同期と話す機会がありませんでしたが、今回グループワークやBBQを通して交流を深められたと思う、今後も他職種との交流を増やしたい』などの感想が聞かれました。これからも同期の絆を大切に、一歩ずつ成長してほしいです。



本号のご案内

- 看護部だより 新規採用者 リフレッシュ研修…………… 1
- 療育だより 今年度も外出行事が始まりました！…………… 3
- NST研修を受講して…………… 2
- 健康プラザ 凝固検査について…………… 3
- 待ちに待った面会が始まりました…………… 2
- 外来担当医表…………… 4

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

NST研修を受講して

薬剤科 調剤主任 志賀 洋介

6月12日から5日間にわたり、仙台医療センターで開催された『チーム医療推進のための研修（NST）』に参加しました。

NSTとは「栄養サポートチーム」の略称で、多職種（医師、看護師、栄養士、薬剤師など）で患者さんの栄養支援を行うための医療チームのことです。患者さんの栄養管理を薬剤師の立場から貢献したいと考え、この研修に参加しました。

当院以外の病院からも看護師、栄養士、薬剤師を中心とした職種が集まり、栄養管理の基礎的な知識を学んだほか、病棟での回診など、実際に仙台医療センターNST活動の様子も見学しました。また、実際の症例を用いたグループディスカッションでは、それぞれの職種の立場から見た治療計画の考え方を共有し、よりよい治

療を計画するために活発な意見交換がされました。

これからも研修で学んだ内容を活かし、入院患者さんの栄養管理に貢献できるよう、努力していきたいです。



待ちに待った面会が始まりました

地域医療連携室 地域医療連携係長（看護師長） 降矢 美恵

当院では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い患者様への面会を中止していました。5月8日から「5類感染症」に移行することに伴い、3年ぶりに面会が再開しました。患者様やご家族様の「会いたい」思いを叶え、基本的な感染対策を継続しながら、限られた時間で充実した面会になるように話し合いを重ね検討してきました。

面会では、患者様の普段見られない表情やご家族の安堵した表情を見ることで私達も嬉しく心地よい空間に癒

されました。面会后ご家族様から「会えてよかった」「成長している」などの言葉やスキンシップする様子がみられ、別れ際には涙ぐむ場面も見られました。「会いたい」を叶えることで、入院生活において患者様、ご家族様の精神面でも重要な役割を担っていることに気づきました。

これからも患者様のために心に寄り添い、感染対策をしながら面会を継続していきたいと思えます。



ご本人と家族様には掲載の了承を得ております。

重症心身障がい児（者）病棟では現在も様々な制限がかかっている状態ではありますが、感染対策を行い、去年に引き続き外出行事が始まりました！

外出前には保育士が郵便屋さんの格好をして乗車券を患者様に渡しており、それから当日までの間、乗車券を眺めてはにこやかに過ごす様子が見られました。

そしていよいよコロナ禍以来初外出となる外出当日に。久しぶりに見る須賀川の街をぐるりと回りながら須賀川市役所を目指します！

須賀川市役所に到着後、まずは展望台へと向かいました。展望台には須賀川市の歴史が写真付きの年表になって飾っており、おもわず職員も見入ってしまいましたが、それ以上に真剣な様子でじっと見つめる患者様の姿がありました。普段の療育活動時には見ることのできない真剣な表情だったり、驚きの表情だったり、患者様の新たな一面を発見することができました。

その後、はがきにウルトラマンスタンプを押せるブー

スを発見し、「職員達へのお土産にしますか？」と、聞いたところ、賛成するように声を出しながらとても嬉しそうに笑みを浮かべていました。

コロナが収束した状況とは言えないものの、対面面会も再開し、徐々に以前のような活動が行える日も近づいているように思います。日々の生活がより楽しいものとなるような療育活動を今後も努めて参ります！



昨年12月当院の凝固検査装置が新しくなりました。この装置で止血に関する血液検査（凝固検査）を行っています。

けがなどで出血をすると血管と血小板、凝固因子の働きにより出血が止まります。凝固因子とは血を止めるために働くタンパク質です。凝固検査には凝固因子の働きを調べる検査と、血の塊（血栓）を溶かす働きを調べる検査があります。当院では凝固因子の働きを調べる検査としてプロトロンビン時間（PT）、活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）、フィブリノゲン量（Fib）の3種類、血栓を溶かす働きを調べる検査としてDダイマーの1種類の検査を行っています。これら4種類の検査は採血の後遠心分離を行い、血漿の部分を用いて測定します。

PTとAPTTの結果は秒数で表され、延長している場合は出血しやすい状態を表しています。またPTはワーファリンという薬の管理をする指標にもなっています。

Fibは凝固因子の一つであり、少なくなると出血しやすい状態になります。Dダイマーは血栓の有無の指標になり、高くなると体内に血栓がある可能性があります。

凝固検査装置は、出血すると体内では出血を止めようとする複雑な働きを評価するために用いられています。



●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

[令和5年7月1日現在]

区 分	月	火	水	木	金
内 科	1	安 田 千 尋	安 田 千 尋		安 田 千 尋
内 科	2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)			
内 視 鏡 検 査				安 田 千 尋	
脳 神 経 内 科	伊 藤 英 一	根 本 和 夫	伊 藤 英 一	根 本 和 夫	杉 浦 嘉 泰
小 児 科	福 島 医 大	石 井 勉 氏 家 二 郎	石 井 勉		河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		石 井 勉 氏 家 二 郎			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)			石 井 希 代 子		
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)				
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎		古 川 浩 三 郎
小 児 外 科				清 水 裕 史	
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2)			

●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- 受付時間は**午前8:30～11:00**までです。急患については随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場合がありますので、ご了承下さい。
- 外来担当医表は令和5年7月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 9:00～17:00)
診療の予約・変更等 (月～金 15:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

8月26日釈迦堂川花火大会が開催されるようです。Covid19流行以降初で4年振りの開催になります。打ち上げ地点が近くですので、病院敷地内からも十分に見ることができる花火大会です。当日の天候は晴れ、風は花火大会に適した微風、かつ風上側になることを祈ります。久しぶりの花火の写真撮影ができれば幸いです。
(編集委員 H・A)



National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構 **福島病院**

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<https://fukushima.hosp.go.jp/>